

ほけんだより

No.7

2023年11月30日 発行

真冬に向けて本格的な寒さになり、インフルエンザも猛威をふるっています。十分な休息と規則正しい生活を心がけ、冬の風邪に備えましょう。

10月の利用状況 利用者数 17名

感染性胃腸炎

原因は細菌によるものとウイルスによるものの2種類あります。

症状は発熱、下痢、嘔吐などです。ドロツとした便に血が混ざっている場合は細菌性腸炎の可能性があるので気を付けて観察しましょう。また、ウイルス性腸炎では便が灰白色から白色に変化することがあります。

ノロウイルスは複数の種類があり、1シーズンに繰り返しかかり、ウイルスに対する抗体には防御能が低く、毎年感染することもあるので気を付けましょう。吐物や便の処理が十分でないと残留物が乾燥して空气中に浮遊し空気感染する可能性があるため、徹底した処理と、換気、手洗いを行いましょう。



《吐物がついた衣類処理の方法》

- ① 85℃以上で1分以上の熱水洗濯
- ② 水で薄めた塩素系漂白剤（ハイターやブリーチなどの次亜塩素酸ナトリウム）に5～10分浸す。（塩素系漂白剤の説明に沿って希釈しましょう）



インフルエンザ罹患のお子様のお預かりに関して

インフルエンザに罹患されているお子様は発熱して24時間はご自宅でお過ごしください。意識障害や異常行動、いつもとちがう様子はないか見守りください。24時間経過後は熱が続いていても、きっずらぼ病児保育室でのお預かりが可能です。

事前登録について

病児保育室を利用する前に事前登録が必要になります。健康な状態でお子さんと一緒にいらしてください。病児保育室に関する詳しい説明をさせていただきます。所要時間は30分程です。詳しい日時についてはお電話にてご相談ください。

